

人気アーティストの演奏をじっくり楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

— 芸劇ランチコンサート —

名曲リサイタル・サロン

Recital Salon With Masterpieces

大好評、毎偶数月開催の“清水和音の名曲ラウンジ”に続く、
新たな芸劇ランチコンサート・シリーズ“名曲リサイタル・サロン”。
東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、今人気のソリストが登場！
朝11時から約1時間、八塩圭子のナビゲートで特別なりサイタルをお楽しみください。



©Yuki Ohara

第15回 2021. 11.10(水) 實川 風 (ピアノ)

シベリウス: ロマンズ 変ニ長調 op.24-9
ショパン: アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ op.22
チャイコフスキー: ドウムカ ～ロシアの農村風景～ 八短調 op.59
バルトーク: 6つのルーマニア民俗舞曲 ピアノ・ソナタ ホ長調

※ 11月10日(水)に開催予定の福間洸太郎公演は、新型コロナウイルス感染症予防に伴う日本への入国制限の影響により中止します。詳細はMIYAZAWA&Co.のHPをご覧ください。



©EIICHI IKEDA

第16回 2022. 1.12(水) 藤田真央 (ピアノ)

ショパン: ノクターン 第13番 八短調 op.48-1、第14番 嬰へ短調 op.48-2
クララ・シューマン: 3つのロマンス op.21
ショパン: バラード第3番 op.47
リスト: バラード第2番 S.171 R.16



©CharlotteFielding

第17回 2022. 3.9(水) 伊藤悠貴 (チェロ)

～全歌曲集から紐解くラフマニノフ～
ラフマニノフ/伊藤悠貴編: 「歌うな、美しい人よ」「春の水」
「リラの花」「私の窓辺に」「ヴォカリーズ」
ラフマニノフ/伊藤悠貴編: 交響曲第2番より「アダージョ」(東京初演) ほか

福間洸太郎
(ピアノ)



©T.Shimmura

ナビゲーター: 八塩圭子(全回出演)

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定: 2,400円(各回・税込)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催: 毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込)

申込・問合せ: 0120-415-306
(土・日・祝祭日を除く平日9:00～17:00)

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(平日12:00～15:00)

公演情報は

MIYAZAWA&Co.

検索



チケット
発売日 2021年9月29日(水): 實川 風
2021年7月28日(水): 藤田真央・伊藤悠貴

チケット
取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <http://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <http://pia.jp/>(Pコード: 11月公演・205-014、1月公演・200-343、3月公演・200-344)
ローソンチケット <http://l-tike.com/>(Lコード: 32044) イープラス <http://eplus.jp/>

※新型コロナウイルス感染症に関わる政府ならびに東京都の示す方針、そのほかやむを得ぬ事情により、公演内容、客席配置等に変更や制限が生じる可能性があります。お連れ様と離れた席にお座りいただく可能性もございます。予めご了承ください。

各回の聴きどころ

第15回 2021.11.10(水)

實川 風

第15回公演へ急遽出演の實川 風がお届けするのは諸国漫遊、民族色豊かな曲を集めました。シベリウスのフィンランドに始まりポーランド、ロシアそしてハンガリーの音楽を堪能いただけます。

第16回 2022.1.12(水)

藤田真央

チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞を機に、世界中の注目を集める藤田真央。ショパン、C.シューマン、リストのロマンチックな名曲をお届けします。その音世界の純粹無垢の美しさ、いま圧倒的人気の若き才能を心行くまでご堪能ください。

第17回 2022.3.9(水)

伊藤悠貴

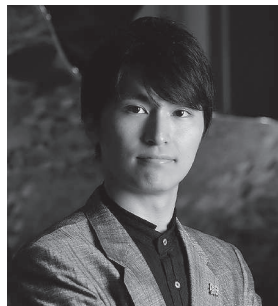
チェロ界の俊英・伊藤悠貴が披露するのは、自身で全て編曲したラフマニノフ・プログラム。叙情的な歌曲も、かの有名な交響曲第2番「アダージェョ」も、優美なチェロの旋律が聴く人の心に残るに違いありません。福岡 洸太郎との初共演にも注目です!



八塩圭子
(ナビゲーター)
Keiko Yashio
(Navigator)

東洋学園大学現代経営学部准教授、フリーアナウンサー、コメンテーター
上智大学卒業後、テレビ東京入社。03年からフリー。大晦日恒例の「ジルバスターコンサート」の司会を担当したことからクラシックファンに。全日空の機内オーディオでクラシックチャンネルのナビゲーターも務めていた。トップ企業との対談やイベント・コーディネートなど、活躍の場も幅広い。

Tokyo Metropolitan Theatre Brunch Concert Recital Salon With Masterpieces



©Hiroimi Nagatomo

實川 風(ピアノ)
kaoru Jitsukawa (Piano)

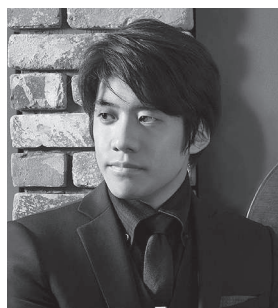
2015年、パリのシャンゼリゼ劇場で行われたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて、第3位(1位なし)、最優秀リサイタル賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。2016年、イタリアで行われたカラーリョ国際ピアノコンクールにて第1位・聴衆賞を受賞。現在、日本の若手を代表するピアニストの一人として、国内外での演奏活動を広げる。ソリストとしてベートーヴェンを核とした本格的なレパートリーに取り組む一方、邦人作品の新作初演などでも作曲家より信頼を寄せられている。海外の音楽祭への招待には、上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・ショパンナイト(フランス)・アルソノーレ(オーストリア)などがある。東京藝術大学附属高校・東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。山田千代子、御木本澄子、多美智子、江口玲の各氏に師事。グラーツ国立音楽大学ポストグラデュエート課程を修了。マルクス・シルマー氏に学ぶ。



©EIICHI IKEDA

藤田真央(ピアノ)
Mao Fujita (Piano)

2019年6月、チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞。ガラ公演では、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団と共演し喝采を浴びた。2017年には弱冠18歳で、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。2020/2021シーズンは、ミュンヘン・フィルとの共演、ヴェルビエ音楽祭で行う《モーツァルト・プロジェクト》など海外での活躍が目される他、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などと共演。各地のリサイタルとともに、2021年春から3年にわたり行う《モーツァルト:ピアノ・ソナタ全曲演奏会》をスタートさせた。1998年東京生まれ。東京音楽大学卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第49回奨学生。2020年、有望な若手に贈られる「第21回ホテルオークラ音楽賞」「第30回出光音楽賞」を受賞した。



©Hideki Shiozawa

伊藤悠貴(チェロ)
Yuki Ito (Cello)

15歳で渡英。王立音楽大学在学中にブラームス国際コンクール、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝。第17回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2011年名門・フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。ラフマニノフ作品、イギリス音楽をライフワークとし、その演奏と活動はV.アシュケナージ、J.ロイド＝ウェバーとの共演をはじめ、国際的に高い評価を得ている。またこれまでに国内外の主要オーケストラや日本を代表する多くの演奏家・指揮者と共演を重ね、ロンドンのウイグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホール、パリのマリニー劇場など、欧州各地の主要ホールでのリサイタルに招かれている。また「名曲アルバム」「クラシック倶楽部」「NEWS ZERO」「恋するクラシック」などにも多数出演。使用楽器は日本ヴァイオリン所有の1734年製ゴフリヤー。

2022年
上半期予定



©Satoshi Oono

第18回
2022年5月18日(水)
竹澤勇人(ピアノ)



第19回
2022年7月27日(水)
塩谷 哲(ピアノ)



第20回
2022年9月28日(水)
伊舟城歩生(ピアノ)